

八学大 男女ラグビー部、女子スピードスケート部

大学スポ協「ユニバス・アワーズ」



キャリア支援で優秀賞

ハ 戸 八戸学院大学の男女ラグビー部と女子スピードスケート部が、大学スポーツ協会(東京)が主催する「UNIVAS AWARDS(ユニバス・アワーズ)」で、マイナビ賞「人材育成支援に関する優秀取組賞」の優秀賞を受賞した。同大運動部の受賞は2022年

度の男女ラグビー部に続き2度目で、人間力向上を目的としたセミナーの取り組みが評価された。また、同部の山下祐史(39)が、人材育成や競技力向上に尽力した指導者に贈られる「コーチ・オブ・ザ・イヤー」の優秀賞に輝いた。(棟方好華)

り組んできた。

ユニバス・アワーズは競技成績のほか、学業や大学スポーツの盛り上げに著しい成果を上げた学生や団体を表彰する制度。両部は、人材育成などを手がけるマイナビ(東京)から講師を招き、昨年7、12月に計6回「デュアルキャリア支援セミナー」を実施。課題発見力や計画力、主体性など六つのテーマごとに約2時間の講義を受け、ディスカッションやアクションプラン(行動計画)の実行に取
熊谷市長(左から)八学大男女ラグビー部の山下ヘッドコーチ、清水主将、女子スピードスケート部の渡邊主将、船場監督
7日は男女ラグビー部の山下H.Cと清水涼平主将(4年)のほか、女子スピードスケート部の船場亜希監督(48)と渡邊咲良主将(4年)が八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に受賞を報告。清水主将は「主体性の持ち方を学ぶことができ、渡邊主将は「自分の課題をチームメイトと共有することで解決につながった」とセミナーの感想を述べた。船場監督は「選手全員の考えを知るきっかけになった。個人競技だが、チームのまとまりが出てきた」と話した。
山下H.Cは「(受講により)学生一人一人の質が高まったと思う。中学生を対象としたラグビー教室などコーチとしての実績も評価していただき、いい経験になった」と二つの受賞の喜びを語った。